

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MAEC TECHNICAL NEWS

No.7600-06-0107

USB 通信 AUTO クリア機能に関するマニュアル訂正のご連絡

分類	ドキュメント正誤表 注意事項 ノウハウ その他	対象	M37640M8 - XXXFP / M37640E8FP / M37640E8FS M37641M8 - XXXFP / M37641M8 - XXXHP / M37641F8FP / M37641F8HP
----	----------------------------------	----	--

1. 対象マニュアル

- (1)7640 グループ和文ユーザーズマニュアル(Rev2.0)
2-113 ページ,2-123 ページ
- (2)7641 グループ和文ユーザーズマニュアル(Rev1.0)
1-122 ページ,1-124 ページ,2-124 ページ,2-134 ページ,2-159 ページ,2-173 ページ,3-34 ページ
- (3)7641 グループ和文データシート(Rev2.0)
144 ページ,145 ページ

2. 対象となる機能

USB 通信機能のうち、以下の機能が対象となります。

- ・エンドポイント 1 ~ 4 (エンドポイント 0 には AUTO クリア機能はありません)
- ・OUT (データ方向: ホストからデバイス)
- ・アイソクロナス転送、バルク転送、インタラプト転送

3. 訂正内容

- (1) 1-122 ページ,2-173 ページ,3-34 ページ(7641 グループ和文ユーザーズマニュアル)
144 ページ (7641 グループ和文データシート)

誤	「 <u>AUTO_SET,AUTO_CLR</u> 機能使用時も IN_PKT_RDY ビット又は OUT_PKT_RDY フラグをソフトウェアでセット又はクリア可能です」
正	「AUTO_SET 機能時も IN_PKT_RDY ビットをソフトウェアでセット可能です」

(2) 1-124 ページ(7641 グループ和文ユーザーズマニュアル)

145 ページ (7641 グループ和文データシート)

誤	「DMA の転送元又は転送先として USB FIFO を使用するとき、 <u>AUTO_SET, AUTO_CLR 機能を使用する場合は、転送データの中にショートパケットデータが混在しないようにご注意ください。</u> 」
正	「DMA の転送先として USB FIFO を使用するとき、 <u>AUTO_SET 機能を使用する場合は、転送データの中にショートパケットデータが混在しないようにご注意ください。</u> 」

(3) 2-113 ページ(7640 グループ和文ユーザーズマニュアル)

2-124 ページ(7641 グループ和文ユーザーズマニュアル)

誤	「"1"のとき <u>最大OUTパケットサイズと等しいサイズのデータがOUT FIFOから読み出された場合に自動的に OUT_PKT_RDY フラグが"0"にクリアされます。ショートパケット受信時は1パケット読み出し後に、OUT_PKT_RDY フラグをクリアしてください。</u> 」
正	「"1"のとき <u>受信したOUTパケットサイズと等しいサイズのデータがOUT FIFOから読み出された場合に自動的に OUT_PKT_RDY フラグが"0"にクリアされます。</u> 」

(4) 2-123 ページ(7640 グループ和文ユーザーズマニュアル)

2-134 ページ(7641 グループ和文ユーザーズマニュアル)

誤	「 <u>AUTO_CLR ビットが"1"の場合、最大OUTパケットサイズ分のデータをOUT FIFOから読み出したとき、OUT_PKT_RDY フラグは自動的に"0"になります。</u> 」
正	「 <u>AUTO_CLR ビットが"1"の場合、受信したOUTパケットサイズ分のデータをOUT FIFOから読み出したとき、OUT_PKT_RDY フラグは自動的に"0"になります。</u> 」

(5) 2-123 ページ(7640 グループ和文ユーザーズマニュアル)

2-134 ページ(7641 グループ和文ユーザーズマニュアル)

誤	「 <u>AUTO_CLR ビットが"1"の場合、最大OUTパケットサイズ分のデータをOUT FIFOから読み出したとき、OUT FIFO にデータがなしならばOUT_PKT_RDY フラグは自動的に"0"になります。OUT FIFO に1パケットデータありならばOUT_PKT_RDY は"0"にクリアされますが83ns後に"1"にセットされます。</u> 」
正	「 <u>AUTO_CLR ビットが"1"の場合、受信したOUTパケットサイズ分のデータをOUT FIFOから読み出したとき、OUT FIFO にデータがなしならばOUT_PKT_RDY フラグは自動的に"0"になります。OUT FIFO に1パケットデータありならばOUT_PKT_RDY は"0"にクリアされますが83ns後に"1"にセットされます。</u> 」

(6) 2-159 ページ(7641 グループ和文ユーザーズマニュアル)

誤	「 <u>注意：AUTO CLR 機能を使用する場合、ショートパケット(最大パケットサイズに満たないパケット)の転送が混在しないように注意してください。ショートパケットの場合、OUT_PKT_RDY フラグのクリアが行われません。</u> 」
正	(注意事項の削除)

以上